

2023年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

1. 2023年3月期 第2四半期決算レビュー
2. 成長戦略
3. 2023年3月期 通期業績見通し

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

2023年3月期 第2四半期決算レビュー

.....

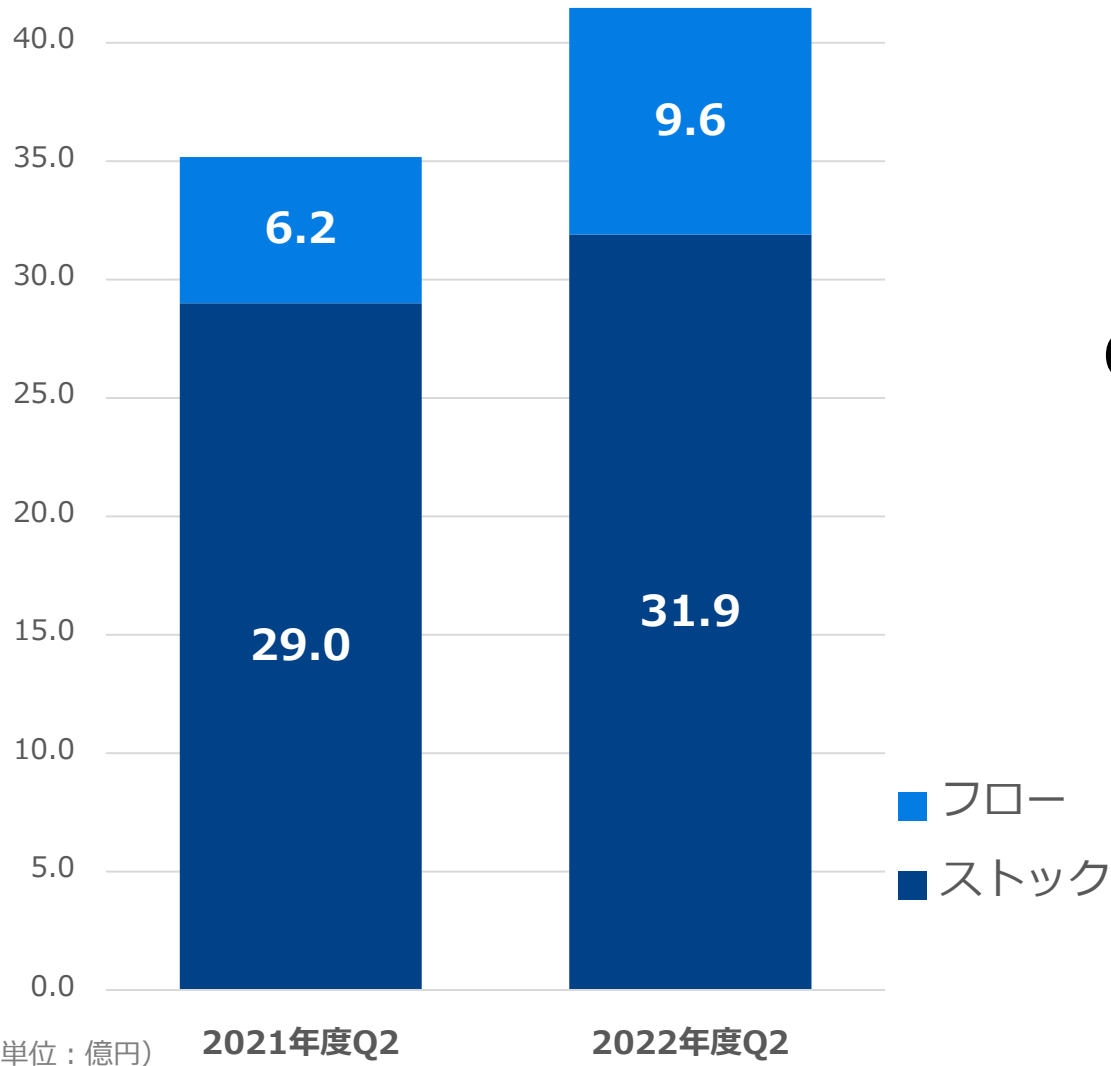
創業来23期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

第4次産業革命の中心的な企業になるために
積極的な成長投資を継続しています

(連結経営成績 単位：百万円)

| | 2022年3月期 第2四半期 実績 | 2023年3月期 第2四半期 実績 | 実績 前年比 | 2023年3月期 通期予想 | 実績 前年比予想 |
|------|-------------------------|-------------------------|-----------|------------------|-------------|
| 売上高 | 3,521 | 4,151 | 117.9% | 9,140 | 110.0% |
| 営業利益 | 571 | 573 | 100.3% | 1,690 | 110.1% |
| 経常利益 | 516 | 516 | 100.1% | 1,590 | 107.1% |
| 純利益 | 319 | 298 | 93.4%* | 947 | 100.4% |

※ スライド6 「2023年3月期 第2四半期決算レビュー【利益】」参照



Optimal Biz、
OPTiM Cloud IoT OSを
中心とした
ストック売上が
引き続き堅調に推移

■業績の進捗状況および通期見通し

【売上】

- ・ストック型の売上は、「Corporate DX」「Industrial DX」とともに、それぞれ中心となる「Optimal Biz」「OPTiM Cloud IoT OS」のライセンスが、順調に推移しております。
- ・フロー型の売上は、前期から継続している医療×IT分野における売上が好調に推移しております。
- ・当社の売上構造は、ストック型のライセンス収入で月額課金による売上が中心となっていること及びフロー型のカスタマイズ売上の検収時期が下期に集中する傾向があること、などの理由から、売上は下期偏重となります。

【利益】

- ・「Optimal Biz」を始め、「OPTiM Cloud IoT OS」やAI関連サービスのストック売上が順調に推移しております。
- ・前年対比でフロー収入の割合が増加したこと及びソフトウェア償却費が増加したことに伴い原価率が上昇しております。
- ・有価証券評価損、繰延税金資産差分等の影響により、純利益については、前年比マイナスとなっておりますが、通期業績への影響はございません。

第2四半期の進捗状況としては、売上・利益ともに計画通り順調に推移しており、通期業績予想への影響は一切ございません。

なお、現時点において新型コロナウイルスによる影響は顕在化しておりませんが、業績予想に与える影響が判明した場合は、すみやかに開示を行います。

成長戦略

TAM160兆円[※]市場に向け必要となる主な投資とその用途

- 1) OO×ITの更なる推進による接続デバイス、産業拡大に向けた投資
- 2) 産業用キラーサービス開発に向けた投資
- 3) 18万社の顧客基盤へのCorporate DX新サービス開発に向けた投資
- 4) 上記を実現するためのAI/IoTプラットフォームCloud IoT OSへの投資
- 5) 上記を実現する優秀な人材への更なる投資


TAM160兆円の市場に向けて

利益を確保しながらも**積極的な成長投資**を継続

※ 「第4次産業革命の中心的な企業となる」ことで見据える市場規模」スライドを参照

〇〇×IT構想の更なる推進にむけて

中期経営テーマ OPTiM



各産業とIT（AI・IoTなど）を組み合わせる
「〇〇×IT」により
全ての産業を第4次産業革命型産業へと
再発明してまいります

2021年3月期第2四半期決算説明会資料より

OPTiM Cloud IoT OSが次々に実現する産業DX

Industrial DX

| 産業共通 | | 建設 | 医療 | 農業・IoT | ロボット | 更なる OO×ITを推進 450億台になる さまざまな業界・ ハードウェアへ展開 |
|--------------------------|-------------|--|--|---|--|--|
| PC・スマホ・ タブレット | カメラ | 建機・ダンプ・ トラック KOMATSU Landlog | 手術ロボット hinoto Medicaroid | ドローン・ センサー等 NTT e-DroneTechnology | 各種検査ロボ Kawasaki Powering your potential | |

OPTiM Cloud IoT OS

ID管理・デバイス管理・遠隔制御・クラウド管理・セキュリティ・エコシステム運用・課金管理

AIサービス

| | | | | | | |
|----------------------|----------------------------|---------------------------|-------------|----------------------|------------------------|------------------------|
| OPTiM IoT | OPTiM AI Camera | OPTiM Geo Scan | MINS | 農業DX サービス | ロボットDX サービス | ... 次々に 新サービスを投入 |
|----------------------|----------------------------|---------------------------|-------------|----------------------|------------------------|------------------------|

産業向けサービス

2021年度
Q1

Q2

Q3

Q4

2022年度
Q1

Q2

IoTプラットフォームサービス



農業



国産ドローンサービス利用推進：
NTT e-Drone Technology設立

固定翼型ドローン
栽培指導実証

ハウス
栽培実証

スマート米2022
販売開始

「ピンポイントタイム散布」
サービスの提供を開始



医療



「オンライン診療プラットフォーム」
バージョンアップ

「ポケットドクター」
神戸大学と共同研究



建設・土木



「OPTiM Land Scan」
としてβ版無償提供

サービス提供開始
OPTiM® Geo Scan
高精度3次元測量

国土交通省 九州地方整備局
「令和3年度防災訓練」へ提供

スキャン・
エックス連携

「IT導入補助金2021」認定

国土交通省 九州地方整備局が
熊本県で実施する「災害査定
のデジタル化」採用

Geo Point
発表

「IT導入補助金2022」認定
国交省出来形管理
要領準拠

Geo Design
発表

産業共通



PC・スマホ・タブレット



カメラ

OPTiM® IoT
クラウド機器管理サービス

サービス提供開始

デロイト トーマツ ミック経済研究所調査
レポートAIソリューション
5部門で市場シェアNo.1獲得

デロイト トーマツ ミック経済研究所調査レ
ポートAIソリューション
8部門で市場シェアNo.1獲得

one x one
新宿ミロードへ提供 JR東海実証

AKIBAのアキバ、
丸の内エリアへ提供 機能追加
Safe連携 機能追加
API無償トライアル

OPTiM AI Camera

混雑状況を可視化して三密を回避

広域モード・ 上野動物園
API連携追加 混雑マップ提供

ArgosView
連携

飯田お練り祭り

「IT導入補助金2022」認定
機能追加
佐賀空港提供
熊本城提供

リモートマネジメントサービス

Optimal Second Sight
遠隔作業支援サービス

Smart Field

Second Sight : RealWear
スマートグラス対応

Second Sight : ザクティ
ウェアブルカメラ対応
スパイダープラス
連携検討開始

Smart Field : ザクティ
ウェアブルカメラ対応

Industrial DX戦略：農業

これまでの取り組み

消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立
単一作物で国内最大市場を持つ“米”で
栽培から加工、販売（EC）までを一気通貫で提供



弊社が生産者提携し栽培、販売を実現する“スマート米”において消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立

農業とITの未来メディア「SMART AGRI」を運営
弊社が主体で発足させたスマート農業アライアンスに生産者を中心に2,200の団体が参加。協業し農業全体のDX化を進める

農林水産省、各自治体、生産者と先進的共同研究を数多く実施

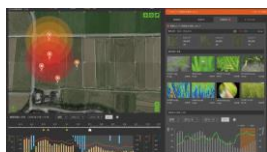
農業・食品産業全体の効率化と付加価値向上を目指した
独創的なDX（AI・IoT）サービスを開発



ドローンを使ったピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー（世界初・特許取得）を提供



ドローンを使った播種テクノロジーを提供



圃場をAI・IoTで画像・センサ解析するサービス“Agri Field Manager”を提供



グライダー型ドローンを使った広域圃場管理システムを提供

今後の展開

米産業全体のDX化

”スマート米“栽培・販売を通じてノウハウを確立した“米”において栽培から加工、流通、販売、全体を見据えたDXサービスを提供する



TAM
約
2.3
兆円 ※

※ 矢野経済研究所「2020年版 コメビジネス・米飯市場の実態と将来展望」
米飯市場の市場規模推移より

農業DXサービスの販売拡大

実用化段階に入った栽培の効率化、付加価値化を行うための
数多くのDXサービスをさまざまなチャネルから提供していく



TAM
約
3,885
億円 ※

※ 『2030年のフード&アグリテック』（NAPA編）の市場規模予測値から「次世代ファーム」「農業ロボット」「生産プラットフォーム」の部分を用いて算出

これまでの取り組み

手術支援ロボットシステム「hinotori™」サージカルロボットシステム」用ネットワークサポートシステム「MINS※」を共同開発

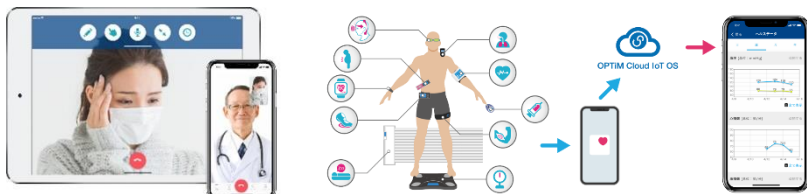


MINS※により実現されること：「hinotori™の稼働状態やエラー情報のリアルタイム収集」「手術室映像のライブ配信及び閲覧」「デジタルツインによる稼働状態の三次元再現」など

※Medicaroid Intelligent Network System

オンライン診療プラットフォーム

2016年2月 「オンライン診療ポケットドクター」を発表
 2020年2月～9月 「ポケットドクター」を医療機関に無償提供し、新型コロナウイルス感染症対策に貢献
 2020年4月 オンライン診療プラットフォームのOEM提供を発表
 2021年7月 「ポケットドクター」とウェアラブル心電計「duranta」を用いた新診療形態の共同研究を、神戸大学にて開始



今後の展開

手術室向けDXサービスとして販売拡大

・hinotori™出荷拡大※に伴い、MINSを順次導入

※日本での事業基盤確立(24.3月期:100億円)
 (シスメックス株式会社 2021年3月期 決算説明会より)
 hinotori™、婦人科および消化器科への適応申請(2021年10月31日付)
 前立腺がん全摘除術などを中心に全国の病院へ拡大中
 (一部例)
 2021年9月 藤田医科大学病院における1例目
 2021年11月 武蔵野徳洲会病院における1例目

・手術室向けDXサービスの共同開発と展開

- ・hinotori™本体の競争力拡大
- ・手術室関連の新規ビジネス創出

コロナ渦でニーズが高まる分野へ応用

オンライン診療プラットフォームを関連サービスに広く展開

TAM
 約 **1,500**
 億円

オンライン診療サービス、オンライン服薬指導、保健指導等企業健保向けオンラインサービスなどの合算値

※1 2024年推定値。調査会社シード・プランニング「オンライン診療サービスの現状と将来の市場に関する調査の結果(2020年7月)」より

※2 全国の総処方箋枚数、約8億枚(厚生労働省「平成30年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」より)に服薬指導単価430円を掛け合わせ、さらにそのうち1割がオンライン化すると想定した場合

※3 50人以上の従業員がいる事業所数、約16.4万施設(平成22年労働安全衛生基本調査、平成26年経済センサス(一部推計含む。))に対して、5万円/月/施設で試算

これまでの取り組み

LANDLOG推進 with EARTHRAIN

SC Edge(現場)



SC Fleetデバイス
(ダンプカーなど)

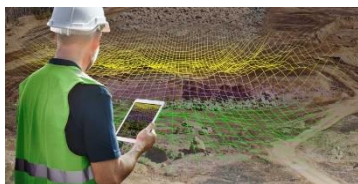


SCLetrofitキット
(油圧ショベル)

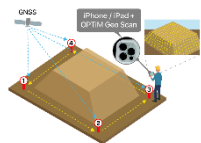


- ・EARTHRAIN社とともに、OPTiM Cloud IoT OS提供を通じたLANDLOGの事業・開発推進
- ・ショベルカー、ダンプカー、ドローン、各種エッジデバイスなどのデバイスを管理・解析
- ・ランドログマーケティングを通じた、事業協業、普及支援

建設・土木向けDXサービスの開発・販売拡大



- ・iPhoneを使った3次元測量アプリ「OPTiM Geo Scan」正式リリース
- ・国土交通省のNETIS認定を取得、出来形管理要領準拠
- ・GNSS測量・杭打ちアプリ「OPTiM Geo Point」のリリース(無料オプション)
- ・図化アプリ「OPTiM Geo Design」のリリース(無料オプション)&アップデートリリース(3次元点群データから図化が可能に)



今後の展開

建設・土木業界のDX化

- ・EARTHRAIN社とともに、引き続きOPTiM Cloud IoT OS提供を通じたLANDLOGの事業・開発推進
- ・OPTiM Geo Scan の更なる展開
モバイル端末を利用したLiDAR測量アプリとして国内初、国土交通省の「三次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に準拠。
これにより、あらゆる規模の現場で、工事開始から検査終了まで建設全体のプロセスを通じての利用が容易になり、さらに多くの現場での導入が可能に。

建設・土木向けキラーDXサービスの販売拡大

- ・OPTiM Geo Scanを中心とした建築・土木DXサービスの開発と展開
- ・ターゲットとなる建設関連会社36万社※に提供

※ 土木工事で元請けができる会社建設会社130万社から企業規模などを鑑みて算出

TAM
3,600
億円

Optimal Biz顧客を中心とした約18万社の顧客網を構築するパートナー戦略

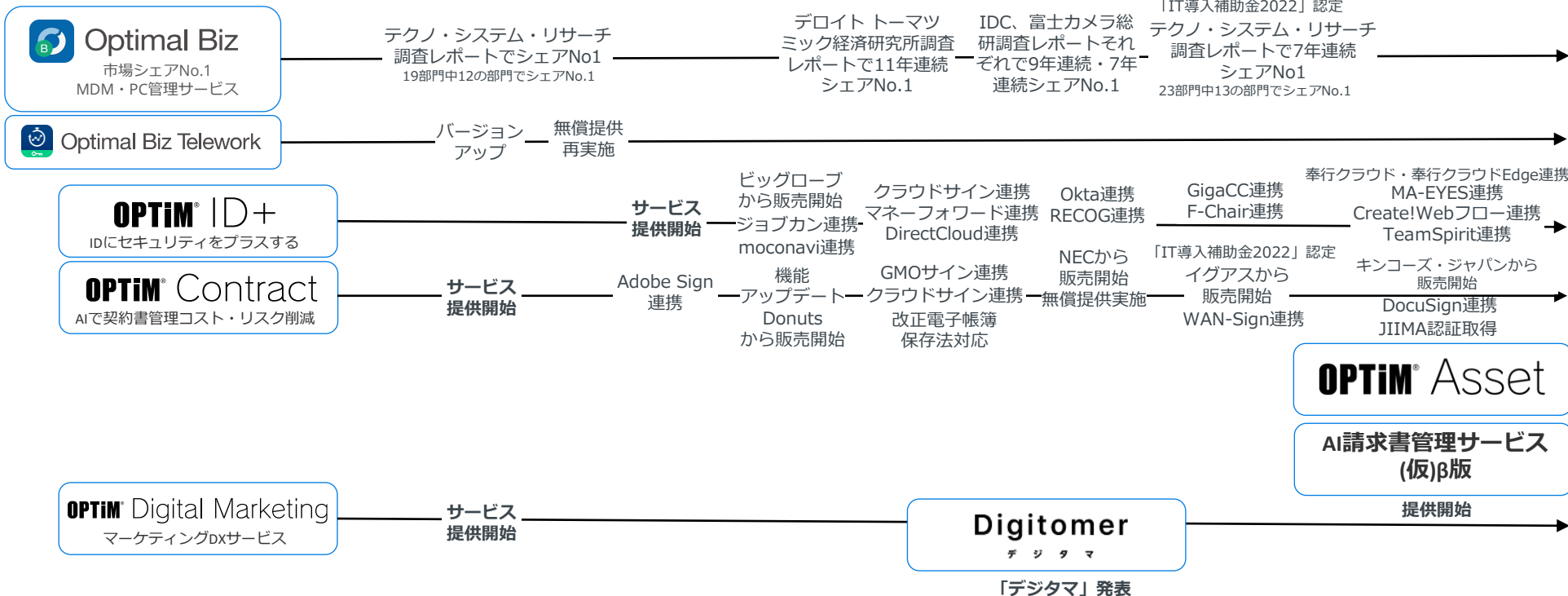


Corporate DX進捗

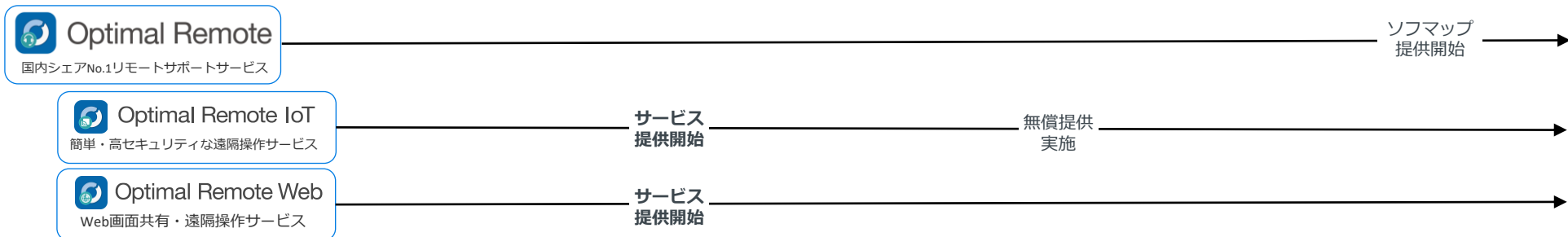
2021年度
Q1 Q2 Q3 Q4

2022年度
Q1 Q2

IoTプラットフォームサービス



リモートマネージメントサービス



450億台^{※1} × 300円/月 =

(IoT機器出荷台数予想) (Optimal Biz平均月額単価)

TAM 約 **160**兆円^{※2}

国内市場TAM約9兆円

国内シェア40%獲得でTAM約3.6兆円^{※3}

※1 総務省令和元年版 情報通信白書 第1部 第2節 デジタル経済を支えるICTの動向、(2) IoTデバイスの急速な普及、図表1-2-1-3 世界のIoTデバイス数の推移及び予測より
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/html/nd112120.html>

※2 デバイスあたり平均月額単価300円、年間単価3,600円のOptimal Bizの価格体系をベースに算出

※3 世界市場TAMに日本GDP比率をもとに国内市場を推測。Optimal Bizシェアが約40%

2023年3月期 通期業績見通し

創業来**23期連続**となる
過去**最高売上高**を目指します。

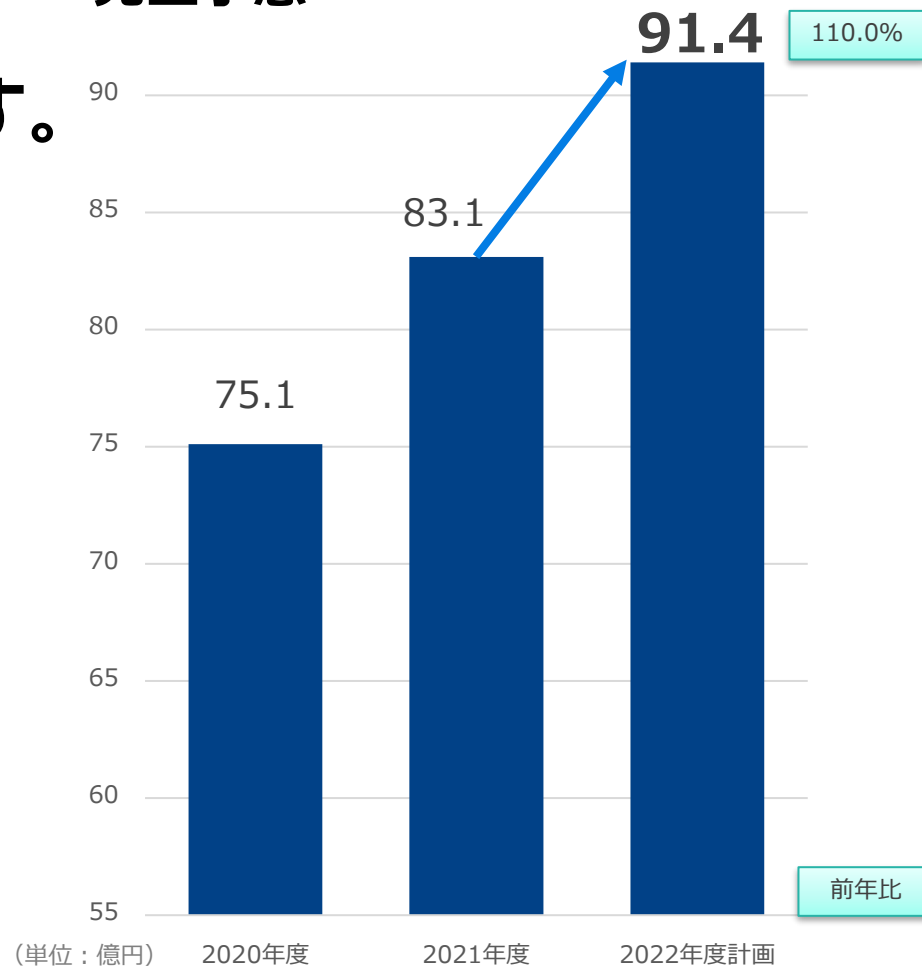
91.4億円(前年比110.0%)

当社のビジネスモデルは、ストック型のライセンス収入を中心とした売上構造となっており、市場のなかでの当社の位置づけも引き続き堅調であり、今後もこの傾向で推移するものと想定しております。

前期において、現在展開中のサービスについて、市場の将来性やその市場における当社の優位性、市場シェア、競合他社の状況等、様々な観点から検討を重ね、注力すべきサービスの優先度を決定しました。

今期も前期に引き続き、その優先順位に基づき、キラーサービスの開発を強化するために積極的な成長投資を行うとともに強固な販売網を活用し、キラーサービスの販売を促進することで、将来的な安定成長を支えるストック売上の底上げを図る一年とする方針です。

売上予想



第4次産業革命の中心的な企業になるために
利益を確保しながらも
積極的な成長投資を継続いたします。

営業利益 16.9億円
(営業利益率18.6%)
(前年比110.1%)

今期においても引き続き積極的な成長投資を継続していく方針であることおよび期中において優良な投資機会が生じた場合、柔軟かつ積極的に投資を行っていきたいと考えております。

営業利益予想



第4次産業革命の中心的な企業になるために、引き続き今期も積極的な成長投資を実施いたします。

売上については、創業来**23期連続**となる過去**最高売上高**を目指します。

利益については、積極的な成長投資を実施しつつ前年比**110.1%**の営業利益を目指します。



Appendix

国産スマートシティ/都市OSソリューション 「OPTiM City OS」の提供を開始

AI・IoTプラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS」をベースに開発、
FIWAREと連携したソリューションの構築も可能

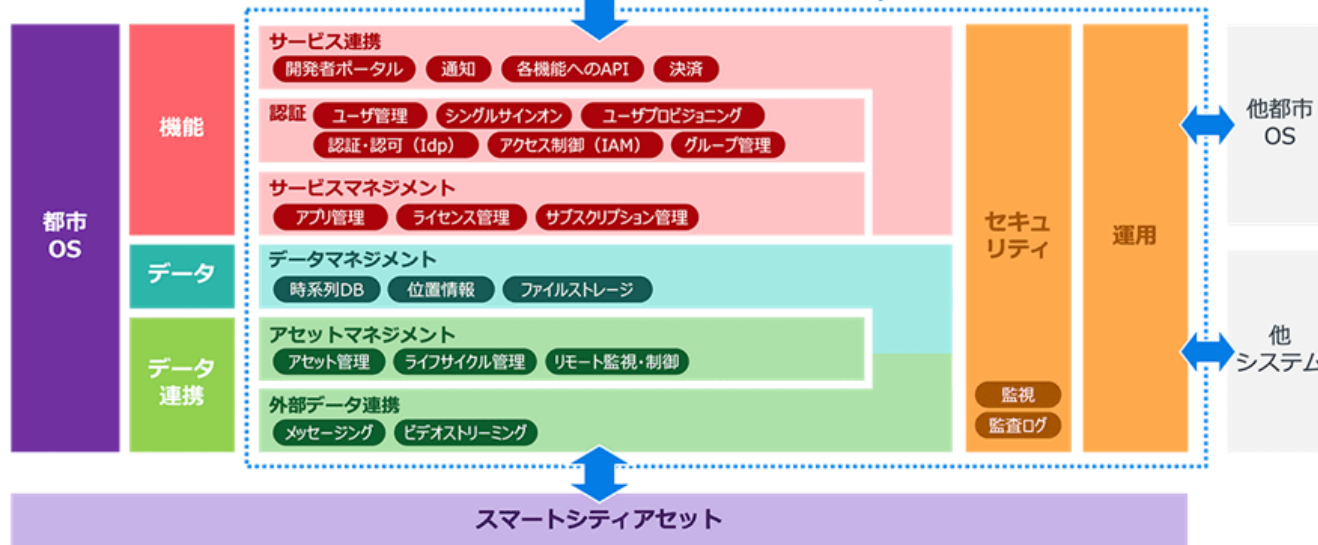
スマートシティリファレンスアーキテクチャ 『都市OSの全体像』

スマートシティサービス

OPTiMが提供中の各種サービス(一部)



OPTiM City OSの代表的なプラットフォーム機能



モノの管理を空気に変える「OPTiM Asset」を提供開始

MDMシェアNo.1のOptimal Bizと連携、オフライン資産も管理が可能に



総務
(棚卸担当者2名)

年間工数が
1/2削減!

年間工数 **680**時間 → 年間工数 **340**時間

導入前

- 紙やExcelから棚卸台帳作成
- 対面や掲示板、メールでのアナログコミュニケーション

導入後

- ナビに従って簡単棚卸開始
- 各担当への連絡はメールで自動通知
- 進捗状況も一目で確認

各部署
(現物確認者20名)

各部署の
対応日数 **2日** ▶ **1日**

棚卸作業
報告がラクに

導入前

- 現物と台帳の型番など目視確認
- 棚卸報告を台帳に追記・メール報告

導入後

- 二次元バーコードを読むだけで棚卸完了
- 報告の台帳への追記などは不要

OPTiM Assetの特長

1. 直感的に操作が可能なUIで棚卸業務を強力にサポート
2. 企業の内部統制への効果も期待
3. 隠れた遊休品を検出、物品の有効活用に貢献

導入のメリット

- PC・スマホなど約4000点の棚卸棚卸関連業務で年間**294万円の削減効果***

※当社調べ、削減効果は従業員600名、管理物品4000程度の企業での想定

2022.09.05プレスリリース

「AI請求書管理サービス（仮称）」のβ版提供を開始

領収書や発注書なども含めた国税関係書類のデータを自動入力し、改正電帳法に対応
インボイス制度やOPTiM Contractと連携した契約書を含めた一元管理にも対応予定

The screenshot displays a web application interface for managing invoices. The main area shows a request form for '株式会社オプティム薬園' (Optimum Yakuen Co., Ltd.) with a total amount of ¥184,600. The form includes fields for '取引先' (Customer), '取引日' (Transaction Date), and '取引金額' (Transaction Amount). A table below the form lists items: 'りんご' (Apples) and 'ボールペン' (Ballpoint pens). A summary table at the bottom shows tax calculations for 10%, 8%, and consumption tax, totaling ¥184,600.

| 日付 | 項目 | 数量 | 軽減税率対象 | 単価 | 合計 |
|-----------|-------|-------|--------|-----|---------|
| 2022/8/17 | りんご | 1,000 | ※ | 120 | 120,000 |
| 2022/8/19 | ボールペン | 800 | | 100 | 80,000 |

| 10%対象 | 対象額(税込) | 消費税 | 小計 |
|-------|----------|-----|----------|
| | ¥50,000 | | ¥55,000 |
| 8%対象 | ¥120,000 | | ¥129,600 |
| 小計 | ¥170,000 | | ¥184,600 |

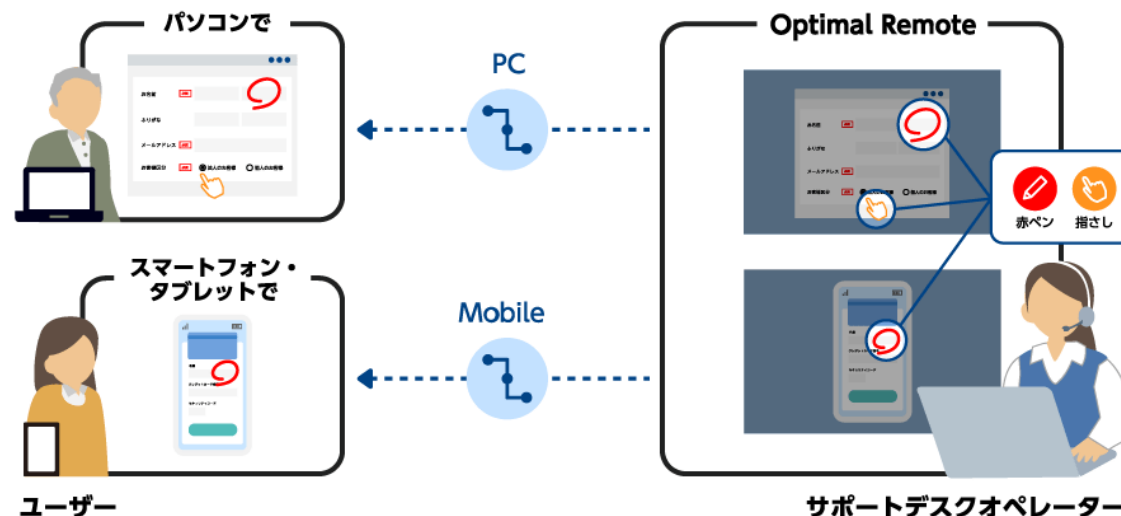
本サービスの特長

- あらゆる国税関係書類を電子データで保存可能
- AIによる書類情報の抽出・入力機能
- 「OPTiM Contract」連携（予定）
- 経理業務を効率化する機能提供（予定）

提供の背景

- 2022年1月1日より、改正電子帳簿保存法が施行され、請求書、領収書、発注書など国税関係書類の電子化のための法令要件が大幅に変更されました。従来電子データで授受された国税関係書類を紙に印刷して保管できましたが、2022年1月1日以降は紙への印刷が禁止され、電子帳簿保存法の要件に則りデータの状態で保管することが求められております。また、電子取引データを保存する上で「取引年月日・金額・取引先」の情報で検索できるようデータ入力の必要性にも迫られております。さらに2023年10月より、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されることになり、仕入税額控除を受けるために「売り手」「買い手」共にインボイス（適格請求書）の保存が必要となります。

ビックカメラグループのソフマップが提供している、サポートサービス「電話&リモートサポート」へ提供



提供の背景

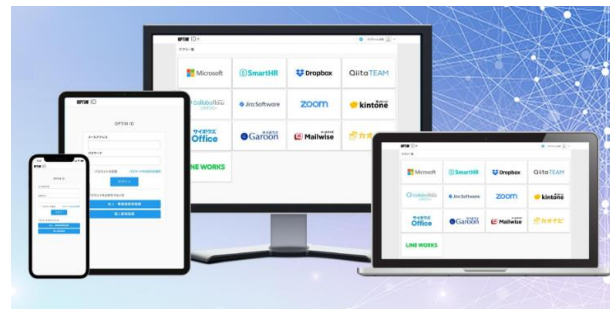
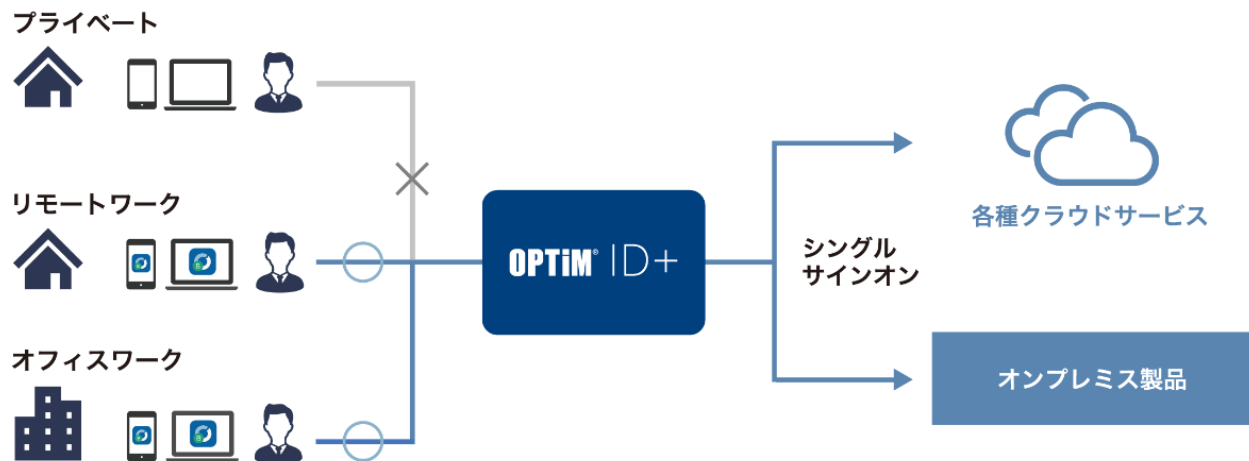
- ソフマップは「循環型社会（サーキュラーエコノミー）への取組強化」を推進しており、パソコンやタブレット、ソフトウェアや各種周辺機器などの販売、保証、修理、買取、リサイクルなどの事業を強化しております。また、デジタル機器の点検、診断・設定や修理サービスを提供する「サービスサポートカウンター」、パソコンやスマホの使い方・設定方法などを専門スタッフが解決する「電話&リモートサポート」サービスを提供し、ビックカメラグループのお客様のサポート体制の充実化に取り組んでいます。このような背景のもと、パソコン・タブレットの“困った”を電話やリモートで解決できるサポートサービス「電話&リモートサポート」に、リモートサポートサービス「Optimal Remote」を提供することとなりました。

※出典：ITR 2020年8月発刊、「ITR Market View：ユニファイド・エンドポイント管理市場2020」、「第7章 国内リモートデスクトップ / リモートコントロール市場動向」、「7-4-3 リモートコントロール市場」より

2022.09.13プレスリリース

Corporate DX : OPTiM ID+ IDにセキュリティをプラスする

OPTiM®



「OPTiM ID+」は、国内シェアNo.1 MDM「Optimal Biz」と連携した
シングルサインオンサービスです

OPTiM® ID+ 

サービス連携開始

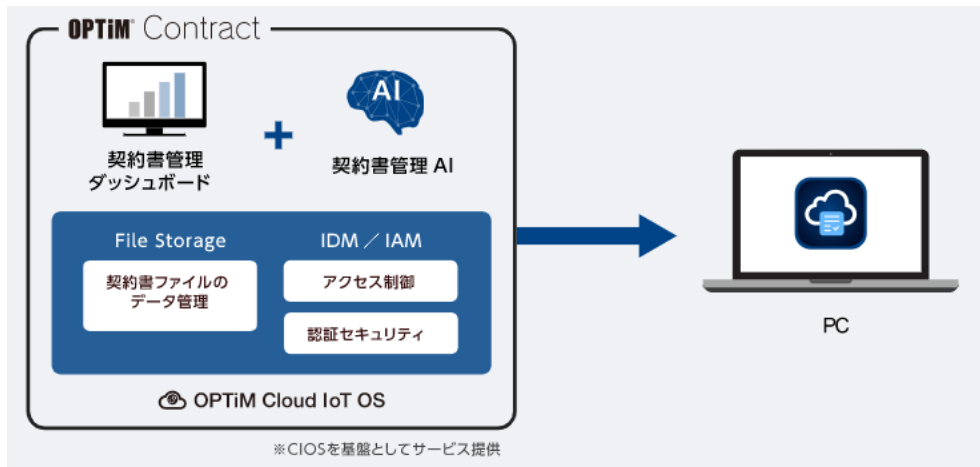
 すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド







2022.08.15, 08.25, 08.26, 08.31プレスリリース



JIIMA認証 (電子取引ソフト法的要件) を取得



AIの自動データ抽出で
入力作業を削減



柔軟な検索機能で
すぐに契約書が見つかる



契約更新を通知し
経済損失を削減

改正電子帳簿保存法に則った国税関係書類の
電子取引データの保管に対応

「OPTiM Contract」は、契約書データをAIが自動で高速抽出・入力、クラウドで一元管理し、管理コストを削減・契約更新漏れによる損失を防ぎます

OPTiM Contract

販売開始(新規販売パートナー)

kinko's
On Demand Solutions

KONICA MINOLTA

サービス連携開始

DocuSign

3次元点群データからも図化が可能に

「OPTiM Geo Scan」の無料オプション「OPTiM Geo Design」のアップデートを実施

「OPTiM Geo Scan」で取得した3次元点群データから
平面図、縦横断図の図形データ作成までが誰でも簡単に

OPTiM Geo Scan・
OPTiM Geo Pointで
点群・座標を取得



NEW!



3次元
点群データ
または
座標データ

OPTiM Geo Designで図化
(平面図・横断図等)



CADソフトでの図面作成
(平面図、縦断図、横断図)に
利用可能なデータとして出力



「OPTiM Geo Scan」 / 「OPTiM Geo Point」と「OPTiM Geo Design」を利用すれば
3次元測量から図化までをワンストップで完結

ザクティの業務用ウェアラブルカメラに対応

手ブレ・傾きを気にすることなく

誰でも簡単にハンズフリーでの遠隔作業支援を受けることが可能に



現場データ管理ソリューション「Smart Field」とは

- AI・IoTで現場に革命を与える現場データ管理ソリューション「Smart Field」とは、スマートグラスやスマートフォンなどのスマートデバイスで撮影した写真や動画をクラウドへ自動アップロードすることで、データ管理を手間なく容易にでき、映像共有で遠隔作業支援を可能にするソリューションです。従来と比較して、作業記録や報告書作成などの事務作業時間や現地への移動時間が削減できるため、最大で60%超のコスト削減※1と3倍以上の生産性向上※2が期待できます。

※1 2022年9月16日時点、当社調べ。時間単価3,000円で10か所の現場を管理した場合の試算

※2 2022年9月16日時点、当社調べ。導入ユーザーの実績より

世界初※、外部接続LiDAR測量アプリを開発、 スキャン可能距離の大幅拡大に成功

安価な高精度LiDARセンサーを用い多くの現場
でスマートフォンの3次元測量が可能に

| | | |
|----------|----------------------------|---|
| | iPhone/iPad内蔵 LiDARセンサー | 外付けLiDARセンサー |
| スキャン可能距離 | ～約5m | ～約40m |
| 想定利用シーン | 小規模な現場で手軽に測量 | <ul style="list-style-type: none"> 高さのある法面などの測量をより安全に実施 土砂崩れ等の災害現場の測量 橋梁、鉄塔、電柱など高さのある構造物の測量や点検 |

- 外部LiDARセンサープロトタイプイメージ



- 取得できる点群データの例 (それぞれ1地点から撮影)



電柱



災害現場



構造物(高架)

※2022年9月30日時点、当社調べ。測量用スマートフォンアプリケーションにおいて、外付けLiDARセンサーの接続を可能にしたもの

2022.09.30プレスリリース

経営理念

世界の人々に大きく良い影響を与える普遍的なテクノロジー・サービス・ビジネスモデルを創り出すことを目的として事業に取り組む。

また、存続を目的とせず、たえず身の丈に合わない大きな志を持ち、楽しみながら挑戦する。


社内外を問わず、あらゆる属性を意識せず、互いが互いの立場を思いやり人間力の向上をおこなう。

オプティムでは、企業のその存在理由そのものが、多くの人々への貢献にあると考えており、その一環として環境や社会問題への取り組みを積極的に行っております。

利益創出は、その貢献を永続化させる、あるいは、イノベーションへの投資によって、その貢献を最大化、効率化させるために必要なものであると位置づけています。

また、ダイバーシティや地域社会との関係性も重視し、創業来上記の経営理念を推進しております。また、ガバナンスの強化を通して、透明性の確保による、企業不祥事、不正の防止、OPTiMのスタッフ個々人のやりがいある職場環境、豊かな人生の実現を図ってまいります。国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)についても、事業活動を通じて目標達成に貢献してまいります。

| 関連するSDGs | 当社の活動 |
|--|---|
| Environment (環境) | |
| <div data-bbox="203 411 391 596"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div data-bbox="203 619 391 805"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div data-bbox="203 828 391 1013"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div> | <p>テーマ：生物多様性の確保と環境負荷軽減 ピンポイント農薬・肥料散布により化学農薬、肥料を最大99%削減 オプティムが特許を保有する「ピンポイント農薬・肥料散布テクノロジー」は、ドローンと画像解析技術を用いた精密農業を行うことができる。必要な箇所のみ農薬、肥料を散布することで、土壌環境への負荷を軽減すると同時にコストも削減することができる。また、減農薬栽培や作物の収量安定を実現。本取り組みは、農林水産省が策定する「みどりの食料システム戦略」でも紹介されている。また、具体的取り組みとして「ドローンによるピンポイント農薬・肥料散布の普及」が明記されている。</p> <p>テーマ：気候変動対策の推進 デジタル技術を用いた気候変動（温暖化）に対応可能な栽培技術体系の確立 気象・水位・栽培歴・病害虫・生育データをデジタル化することで、環境・生育状況に応じた栽培手法をレコメンドするシステムを開発。また、AIを用いた病害予察技術の高度化を実施。気候変動に伴う、作物の高温障害や病害の北上等の課題への対策を可能とすることで、持続的な栽培を可能とする。</p> <p>テーマ：2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の推進 ドローンを活用した資源量調査サービス「ForestScope」の提供 ForestScopeは、ドローンを活用して森林を空撮し、画像解析により樹木本数や材積量を推定することができる。森林資源量の調査を簡便に行うことができ、資源量の調査工数の削減を行うことができる。森林保全を行うには資源量調査が有効なデータとなり、保全のための間伐や資源循環利用、カーボンニュートラルに向けた、計画的な森林マネジメントに貢献することができる。</p> |

| 関連するSDGs | 当社の活動 |
|---|---|
| Social (社会) | |
| <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  </div> </div> | <p>テーマ：地域社会の労働力不足解消、新たな働き方提案 多様な働き方を支援するサービス群（Optimal Biz、Optimal Biz Telework、Optimal Remote、Optimal Second Sight）の提供</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、多くの企業がテレワーク（在宅勤務）へと勤務形態を移行。また、物理的な場所や時間を意識しない仕事のやり方も求められている。このような社会状況に応えるべく、多様な働き方を実現する複数のサービスが提供されている。</p> |
| <div style="padding: 5px;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> | <p>テーマ：地域間医療格差の解消と高度な医療の提供 患者、医療機関の双方においてメリットがある「オンライン診療サービス」を実現</p> <p>地域ごとの医療格差、仕事や育児、身体的事情などでの来院機会損失の課題に対して、スマホやタブレットで遠隔診療を行うことで継続的に受診でき、予防医療にも繋がり生活習慣病有病者や介護者を減らすことが可能。また医師にとっては、往診における時間的・経済的負担も軽減。</p> |
| Governance (企業統治) | |
| <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  </div> </div> | <p>テーマ：企業価値、株主価値向上を目指して 指名・報酬・特別委員会の設置</p> <p>取締役の選解任や報酬などの重要な事項の検討にあたり、社外取締役の適切な関与や助言を得る機会を確保し、公正性・透明性・客観性を強化することを目的に、取締役会が任意に設置する諮問機関として「指名委員会」「報酬委員会」を設置。「指名委員会」「報酬委員会」の構成員は、取締役である委員3名以上で構成し、その過半数は独立社外取締役から選定している。また、支配株主と少数株主との利益が相反する重要な取引等について、公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレートガバナンスの充実を図るため、「特別委員会」を設置。「特別委員会」は独立社外取締役2名で構成されている。</p> |